

作成日：2006年7月1日

改訂日：2016年5月2日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名 セピロンコートQ 硬化剤グレー 通年用

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用 (建築用防水材 等)

整理番号 NU-Q006

2. 危険有害性の要約

重要な兆候及び想定される非常事態の概要

最重要危険有害性：

有害性： 蒸気は目を刺激する。

環境影響： 情報なし。

物理的及び化学的危険性：

加熱すると引火しやすい液体。消防法指定可燃物 (可燃性液体類)

特定の危険有害性： 情報なし。

分類の名称 (分類基準は日本方式)：分類基準に該当しない。

GHS分類

急性毒性 経口	区分外	発がん性	区分外
急性毒性 経皮	区分外	生殖毒性	区分 1B
急性毒性 吸入	区分外	水生環境有害性(急性)	区分 2
眼損傷/眼刺激性	区分 2B	水生環境有害性(長期間)	区分 4

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

注意喚起語： **危険**

危険有害性情報

- ・ 眼刺激

- ・ 生殖能力又は胎児への悪影響のおそれ
- ・ 水生生物に毒性
- ・ 長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き

<安全対策>

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること
- ・ すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること
- ・ 取扱い後、よく手を洗うこと
- ・ 環境への放出を避けること

<救急処置>

- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けること

<保管>

- ・ 施錠して保管すること

<廃棄>

- ・ 内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 製品は混合物

化学名

一般名

ウレタン系防水材料用の硬化剤

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
特殊アミン	2~4	非公開	非公開	非公開
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	36	$C_6H_4(COOC_8H_{17})_2$	(3)-1307	117-81-7
炭酸カルシウム	55~65	$CaCO_3$	(1)-122	471-34-1

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、直ちに、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

目に入った場合：

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 本人が自発的に吐くことが可能ならば吐き出させる。他人が無理に吐かせてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、大量の水が有効である。
- 特定の消火方法： 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
- 消火を行う物の保護： 燃焼あるいは高温により一酸化炭素、窒素酸化物などの有害ガスを発生するので消火作業には呼吸器用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 作業の際には適切な保護具（ゴム又はプラスチック手袋、呼吸器用保護具、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境へ影響を起すことがないように注意する。
- 除去方法： 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量流出の際には、盛り土で囲って流出を防止する。流出物はスコップなどで密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- 二次災害の防止策： 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
- 注意事項 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。
- 安全取扱い注意事項
- 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- 使用済みウエス、防水材かす等は廃棄するまで水につけておく。
- 保管：
- 適切な保管条件
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管。風通しの良いところに保管する。
 - ・ 雨水や直射日光を避けるために防水シートで覆うこと。
- 安全な容器包装材料 石油缶など。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策： 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置の設置を行う。取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

管理濃度及び許容濃度：

成分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2005)	ACGIH(2005)
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	—	5mg/m ³	5mg/m ³

保護具

呼吸器用の保護具	必要に応じて有機ガス用防毒マスクを使用。
手の保護具	耐油性（不浸透性ゴム）手袋。
目の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	静電気防止作業衣、安全靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状： 着色液体。

色： グレー。

臭い： 微臭あり。

pH： データなし。

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲：

データなし。

融点： データなし。

沸点： データなし。

引火点： 160°C

発火点： データなし。

爆発特性： データなし。

蒸気圧： データなし。

蒸気密度： データなし。

比重： 1.57

溶解性 溶媒に対する溶解性：

トルエン、キシレン、酢酸エチル等に可溶。水に不溶。

オクタノール／水分配係数：

データなし。

分解温度： データなし。

その他のデータ：

データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性： 単独では全く反応しない。

化学的安定性： 常温で安定である。

避けるべき材料： 水分、イソシアネート類。

危険有害な分解生成物：

燃焼あるいは高温により一酸化炭素、窒素酸化物などの有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

- 急性毒性（経口）： 特殊アミン(2-4%)LD50 738mg/kg
 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(36%) LD50 >20,000mg/kg
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 急性毒性（経皮）： 特殊アミン(2-4%)LD50 2000mg/kg
 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(36%) LD50 24,700mg/kg
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 急性毒性（吸入）： フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(36%) LC50(ミスト) 10.62mg/L
 上記より混合物として区分外に分類される。
- 皮膚腐食性／刺激性： データ不足のため分類できない。
- 眼損傷／眼刺激性： 特殊アミン(2-4%)；区分2B
 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(36%)；区分2B
 上記より混合物として区分2Bに分類される。
- 皮膚感作性： データ不足のため分類できない。
- 呼吸器感作性： データ不足のため分類できない。
- 変異原性： データ不足のため分類できない。
- 発がん性： データ不足のため分類できない。
- 生殖毒性： フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(36%)；区分1B
 上記より混合物として区分1Bに分類される。
- 特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：
 データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：
 データ不足のため分類できない。
- 吸引性呼吸器有害性： データ不足のため分類できない。
- その他の情報： 情報なし。

12. 環境影響情報

- 生態毒性：
- 水性環境有害性： 特殊アミンEC50(48hrs)甲殻類ジシノ 0.5mg/L
 上記より混合物として水性環境有害性(急性)は区分2に分類される。
 また、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)の生分解性、蓄積性のデータより、水性環境有害性(長期間)は区分4に分類される。
- 残留性／分解性： 水中での生分解性は良好ではない。1.0%以下（28日間）
 水中での生分解性半減期50日 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
- 生体蓄積性： フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) 生物蓄積性あり。
- 移動性： データなし。

13. 廃棄上の注意

廃樹脂、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

セピロンコートQ 硬化剤グレー 通年用

調査又は試験により確認の上ご使用下さい。

- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。